



# 陽気だより

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和38年2月号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で66年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

## 世界宗教たる資格

― 宗教学者の眼にとらえられた天理教の姿 ―

大島 清

(昭和三十八年当時 東京大学教授・文学博士)

### 高度の倫理性

宗教史学の立場から、世界宗教と申しますと、仏教、イスラーム(回教、またはマホメット教とも言われます)、キリスト教の三宗教を挙げる事ができます。(このほかユダヤ教も世界宗教に教える学者がおりますが、私はユダヤ教を民族宗教と考えますので、以上の三宗教を世界宗教として掲げました)

この三つの宗教には、幾つかの共通した性格が見られます。そして、それらの共通した性格こそ、この三つの宗教がそれぞれ世界宗教であり、また、世界宗教となった所以でもあると考えられます。これらの三宗教は、いずれ

も、それぞれの地域(インド、アラビア、パレスチナ)に古くからあった民族宗教(その民族だけの救済を念願とする宗教)から自然に発展して成り立ちましたものではなく、釈尊とか、マホメットとか、イエス(キリスト)というような偉大な宗教的人格から出発しております。

また、この三つの宗教は、いずれも、ある特定の民族とか、ある特定の国家とかの救済を念願としないで、超民族的、超国家的救済、つまり普遍的救済――全人類の救いを念願としております。

ひるがえって、天理教を見ますと、天理教は、中山みきという宗教的人格から出発して、その説くところも、世界

いちれつの救い、つまり普遍的救済で、この点、世界宗教となるに十分な素質を持つてゐるといふことが出来るであります。

さらに、仏教、イスラーム、キリスト教は、いずれも、その教えに高い倫理性が認められます。天理教においても、たとえば一夫一婦の教えのごとく、高度の倫理が説かれております。この高度の倫理性というものは、その宗教が世界宗教であり、また、世界宗教として存続していくために不可欠の条件の一つと考えられます。

いま述べましたように、普遍的救済の教え、ならびに高度の倫理性は、その宗教が世界宗教となるために持つていなければならない基本的条件と考えられますが、それだけで、その宗教が世界宗教になるとは考えられません。何千年という間その宗教が信仰せられ、また、ある特定の地域だけでなく、世界の広い地域において、いろいろな人種によって、

その宗教が信仰せられるには、時代や地域をこえての真理がその宗教において説かれていなければならないことは無論のことですが、そのような不変の真理にあわせて、人間歴史の変遷、あるいは文化の進歩に即応して神学または教学の展開がなければなりません。

### 天理教学への期待

仏教も、イスラームも、キリスト教も、はじめから膨大な神学(教学)体系を持つていたわけではありません。仏教は印度哲学を取り入れて、

月刊『陽気』定期購読受付中

**お**店まで買いに行くのが大変。  
忙しくて購入するのを忘れた。  
定期購読はそんな手間を省きます。  
毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。  
(例:5月号は4月20日)

定期購読料金 1年分  
3,420円(送料込)

購読に関する問合せ先

☎0120-920-398 養徳社 業務部窓口

◆新刊・発売中◆



稚内

極寒の地・樺太（サハリン）には  
終戦前まで五十五力所の教会があった  
戦後七十年 新たに掘り起こした  
樺太伝道の歴史と布教師たちの信仰

A5判・224頁  
定価=1,200円+税

——サハリンへ渡った伝道者たち——

天理教北海道教務支庁編  
養徳社刊

# 新・樺太伝道物語

それを基礎として巨大な教体系をつくりあげたのですし、キリスト教やイスラームは、それぞれギリシャ哲学を取り入れ、それを用いて、それぞれの膨大な教体系を築き上げたのであります。このような神学的（教学的）営みがあったので、これらの宗教は幾千年の風雪に耐え、あらゆる時代の時代思潮を指導しつつ、現在にまで存続することが出来た、と考えられます。

天理教において、現真柱が、天理図書館を起し、天理大学を創設したのも、天理教内において、古今東西の学問、思想が究められ、そのような研究を基礎として、天理教教学がいよいよ整えられ、ますます展開、充実することを念願したものではないかと、これは私が勝手にそのように想像しております。

天理教の指導者たちが機会あるごとに学問の必要を説いているのも——たとえば、堀越儀郎氏が『陽気』昭和三十七年八月号の巻頭言で「お道では阿呆になれということをよく言われます。……阿呆になれとは、馬鹿になれ、また、学問も勉強もいらん、ということではありません」と述べているように——そのように学問の必要を説いているのも、いろいろな学問の研究を基礎として、天理教教学がいよいよ発展的に体系づけられていって、天理教そのものが、世界のあらゆる場所、あらゆる人種、あらゆる時代において、信仰せられるようになるように、つまり世界宗教になるようには、との念願に基づくものではないでしょうか。

それにしても、以上のような任務を果たすべき適任者の一人であったと考えられます。諸井慶徳氏を失ったことは、惜しみてもなお余りあることでもあります。

以上のように、天理教には、世界宗教となる可能性が十分存在すると考えられます。しかし、この可能性を現実のものにするのは、天理教の指導者ならびに各信者の精進にまつべきは、いうまでもありません。

Facebook で最新情報をチェック!  
<https://www.facebook.com/yotokusha>

## マンガ おびや許し

「おびや許し」をいただく方に。  
改訂版  
においがけに。



初版 1万部完売御礼  
増刷出来

作画：金巻とよじ 脚本：山岡美秀 A5判 32頁 定価 200円+税

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。  
<書籍・陽気のご購入方法について>前払いをお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号00990-3-17694番 加入者名(株)養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部